

訂 正

地理

記 号 (S)

<訂 正>

「地理」

1 ページ 〔 I 〕 問 1

選択肢 「(ア) 侵食」 を削除

上梓の内容を一字一句正しく板書してください。
板書した訂正内容に誤りがないかを必ず複数の監督者で
照合してください。

以 上

〔Ⅰ〕 熱帯の自然や生活について述べた次の文を読み、問1～問9に答えなさい。

熱帯は赤道に近い低緯度地帯に分布する気候帯であり、一年を通じて高温で、年較差は小さい。高温多雨な気候により土壌の A 作用や溶脱作用が強く、肥沃度は低い。赤道に近い地帯では、熱帯収束帯の影響で一年を通じて降水量が多い熱帯雨林気候区がみられる。また季節風の影響で短く弱い乾季がある熱帯モンスーン気候区では、乾季に土壌の水分が少なくなるため高木の一部は落葉する。サバナ気候区では明瞭な乾季がみられ、丈の B い草原と C 林からなるサバナが広がる。

熱帯では、狩猟採集や焼畑農業が行われてきたが、近現代以降商品作物を栽培するプランテーションが増えている。エビの養殖池の開発のためにマングローブ林が伐採されるなど、熱帯林の森林破壊が問題となっている。

問1 文中の A に当てはまる語句として最も適当なものを(ア)～(エ)から選び、その記号をマークしなさい。

(ア) 侵食 (イ) 融解 (ウ) 堆積 (エ) 風化

問2 文中の下線部aに関して述べた次の文の下線部①、②の正誤を判定し、①のみ正しい場合はアを、②のみ正しい場合はイを、①、②とも正しい場合はウを、①、②とも誤っている場合はエをマークしなさい。

日射量が多く、常に上昇気流が発生する。赤道付近に形成される高圧帯である。

問3 文中の下線部bに関して、熱帯雨林気候でみられる風として最も適当なものを(ア)～(オ)から選び、その記号をマークしなさい。

(ア) シロッコ (イ) スコール (ウ) ボラ
(エ) ミストラル (オ) フェーン

問4 文中の下線部 c に関して、熱帯モンスーン気候を説明したものとして最も適当なものを(ア)～(エ)から選び、その記号をマークしなさい。

- (ア) 東南アジアではモンスーンにより、豊富な降水がもたらされ、稲作が行われている。
- (イ) 西アフリカでは貿易風により降水がもたらされる。
- (ウ) ヒマラヤ山脈北側では、南側に比べて雨が多い。
- (エ) 南アメリカでは5月から9月にかけて南から北方向に移動するサイクロンが卓越し、多量の降雨をもたらす。

問5 文中の

B

 と

C

 に入る語の組合せとして最も適当なものを(ア)～(エ)から選び、その記号をマークしなさい。

- (ア) B：長 C：密 (イ) B：長 C：疎
- (ウ) B：短 C：密 (エ) B：短 C：疎

問6 文中の下線部 d に関して、熱帯の焼畑農業について説明したものとして最も不適当なものを(ア)～(エ)から選び、その記号をマークしなさい。

- (ア) 持続可能な自給的農業である。
- (イ) 草木灰を主な肥料とする。
- (ウ) 数年利用された畑は休閑期間に森林に戻る。
- (エ) 棚田での稲作と比べて、土地生産性が高い。

問7 文中の下線部 e に関して、図1は1993年から2022年までのインドネシア、エチオピア、コロンビア、ブラジル、ベトナムのコーヒー生産量の推移を示している。ベトナムに該当するものを図1中の(ア)～(オ)から選び、その記号をマークしなさい。

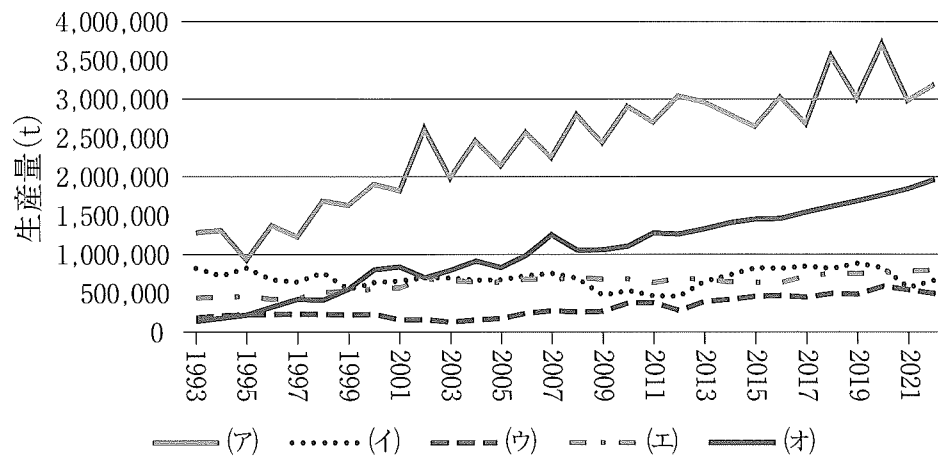


図1

出典：FAOSTAT より作成。

問8 文中の下線部 f に関して、マングローブが持つ機能として最も不適当なものを(ア)～(エ)から選び、その記号をマークしなさい。

- | | |
|--------------|-------------|
| (ア) 漁場の形成 | (イ) 生態系の保全 |
| (ウ) 高波や高潮を防ぐ | (エ) 農業用水の保全 |

問9 次の図2中の雨温図(1)、(2)はシンガポール、バンコク(タイ)、マイアミ(アメリカ合衆国)、リオデジャネイロ(ブラジル)、ケアンズ(オーストラリア)のいずれかの都市のものである。(1)と(2)に該当する都市を(ア)～(オ)から選び、その記号をマークしなさい。

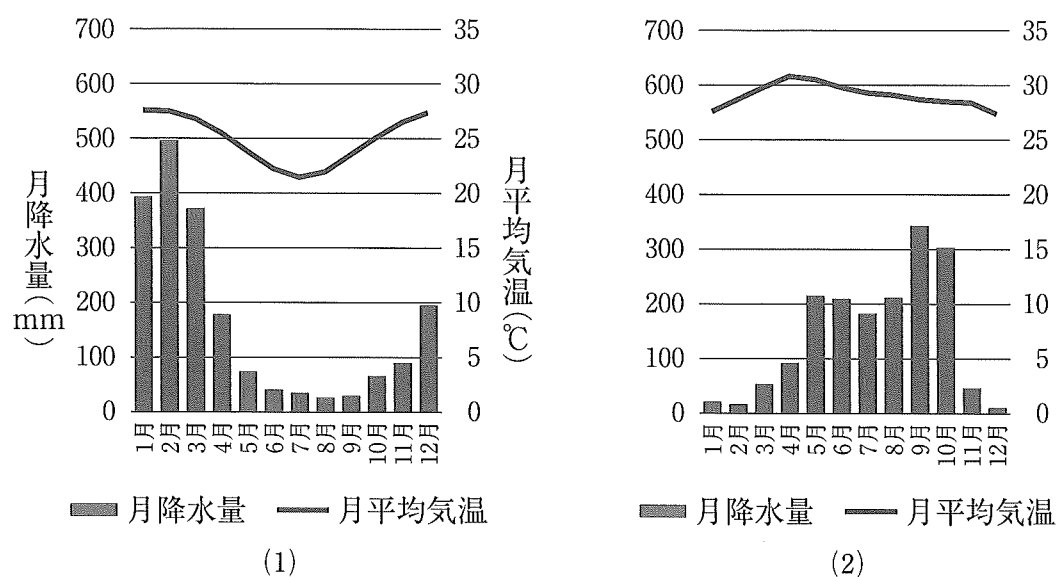


図2

出典：『理科年表 2022』より作成。

- | | |
|-------------------|--------------------|
| (ア) シンガポール | (イ) バンコク(タイ) |
| (ウ) マイアミ(アメリカ合衆国) | (エ) リオデジャネイロ(ブラジル) |
| (オ) ケアンズ(オーストラリア) | |

〔Ⅱ〕 様々な統計や計測値を分析して、重なりあう空間の姿を地図で可視化すると、地域を総合的にとらえる手がかりとなる。そこで地域調査を題材とする問を準備した。以下の問1と問2について答えなさい。

問1 地域調査では写真から景観や文化を推定することがある。写真1と写真2は地域調査時に撮影され、写真3は地域調査前に Google Earth で取得した画像である。これらの写真に関する(1)～(3)の問に答えなさい。

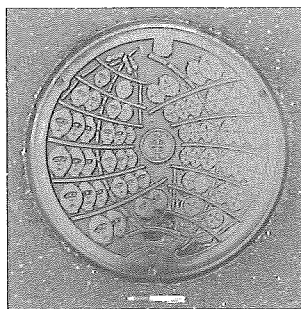


写真1



写真2

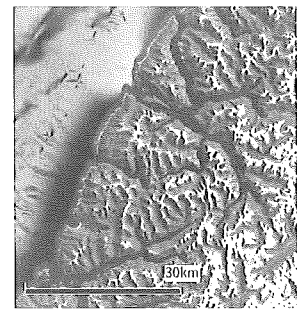


写真3

(1) 写真1は祭りの景観が描写されたマンホールの蓋である。その祭りが実施されている道県として最も適当なものを(ア)～(オ)から選び、その記号をマークしなさい。

(ア) 青森県 (イ) 秋田県 (ウ) 新潟県 (エ) 山形県 (オ) 北海道

(2) 写真2は破壊された奉納物が神社の境内に集められた状況を示す。この場所に対し付与される地図記号として最も適当なものを下の欄の(ア)～(オ)から選び、その記号をマークしなさい。作問の都合上、画像の一部を修正している。

(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)	(オ)

(ア) 円弧状三角州 (イ) 三角江 (ウ) 鳥趾^{ちょうし}状三角州
(エ) フィヨルド (オ) リアス海岸

出典：基盤地図情報及び地理院地図より作成。

(1) 現地での聞き取り調査のため、事前に公共施設の業務内容を調べた。図 1 の地点 A の公共施設で行われている市民向けの公的サービスの内容として最も適当なものを(ア)～(オ)から選び、その記号をマークしなさい。

- (ア) 家庭内紛争の調停 (イ) 救急・救助活動
(ウ) 税金の督促や滞納整理 (エ) 薬物依存症の情報発信
(オ) 読み聞かせ会の開催

(2) 図 1 の伊那市駅の南西約 300 m の神社から北西約 900 m の中学校までを直線的に歩く場合、段丘崖を何回登坂すると予想されるか、最も適当な回数を(ア)～(オ)から選び、その記号をマークしなさい。

- (ア) 1 回 (イ) 2 回 (ウ) 3 回 (エ) 4 回 (オ) 5 回以上

(3) 自然災害を引き起こす斜面崩壊、土石流、氾濫の発生しやすさは地形図から判読できるが、それらに対する場所の脆弱性は、現地調査で確認する必要がある。脆弱性を確認したい図 1 の場所 a, b, c と斜面崩壊、土石流、氾濫との組合せとして最も適当なものを(ア)～(カ)から選び、その記号をマークしなさい。

- (ア) a : 斜面崩壊, b : 土石流, c : 氾濫
(イ) a : 斜面崩壊, b : 氾濫, c : 土石流
(ウ) a : 土石流, b : 斜面崩壊, c : 氾濫
(エ) a : 土石流, b : 氾濫, c : 斜面崩壊
(オ) a : 氾濫, b : 斜面崩壊, c : 土石流
(カ) a : 氾濫, b : 土石流, c : 斜面崩壊

(4) 活断層は、標高差や傾斜量などの地形の連続性に基づいて、その位置は地形図上で判読することができる。図 1 の地点 X は実際に活断層の位置に置かれている。地点 X から活断層が延長する方向と推定できる地点は C ～ G のうちいずれか。地図情報を読み取って、最も適当な地点を示すものを(ア)～(オ)から選び、その記号をマークしなさい。

- (ア) C (イ) D (ウ) E (エ) F (オ) G

(5) 現地調査に先立ち、図2にある地点①～⑤付近に関し、図1を参照しつつ現在の景観やその変化を推定した。推定内容として最も不適当なものを(ア)～(オ)から選び、その記号をマークしなさい。

- (ア) 地点①は、河川右岸の堤防を兼ねる国道と考えられる。
- (イ) 地点②は、北へ進んでも南に進んでも、緩やかな上りと予想される。
- (ウ) 地点③では、水田地帯に体育・文化施設が設置された。
- (エ) 地点④では、工場はスーパーに変化したと思われる。
- (オ) 地点⑤の市役所は、直線距離で南南西方向へ1.5 km 以上移動している。

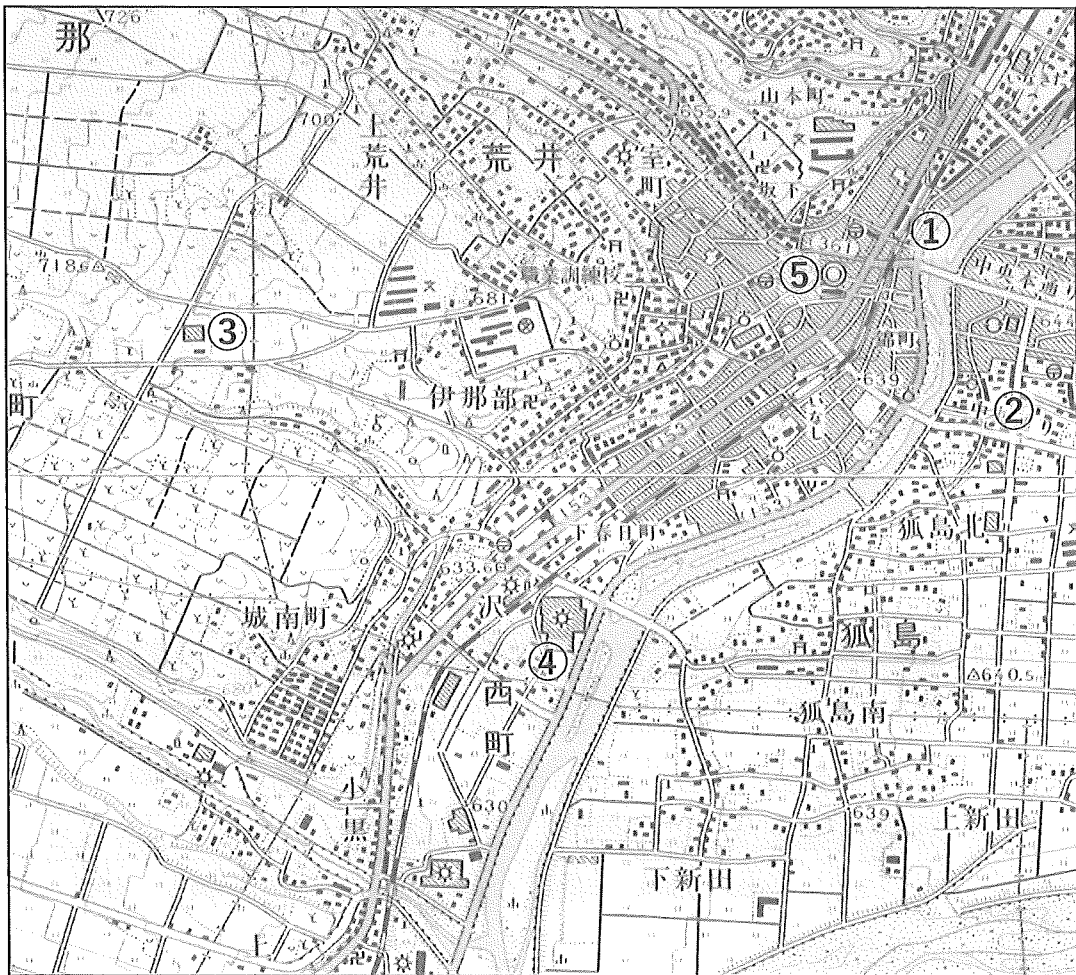


図2

出典：旧版地形図(伊那〔1977年発行〕と伊那宮田〔1977年発行〕)を使用。

(6) 図3は、各月の平均気温を折れ線で、各月の日照時間を縦棒で併記したものであり、その(ア)～(エ)は伊那市、仙台市、長野市、弘前市のいずれかである。伊那市のものを(ア)～(エ)から選び、その記号をマークしなさい。

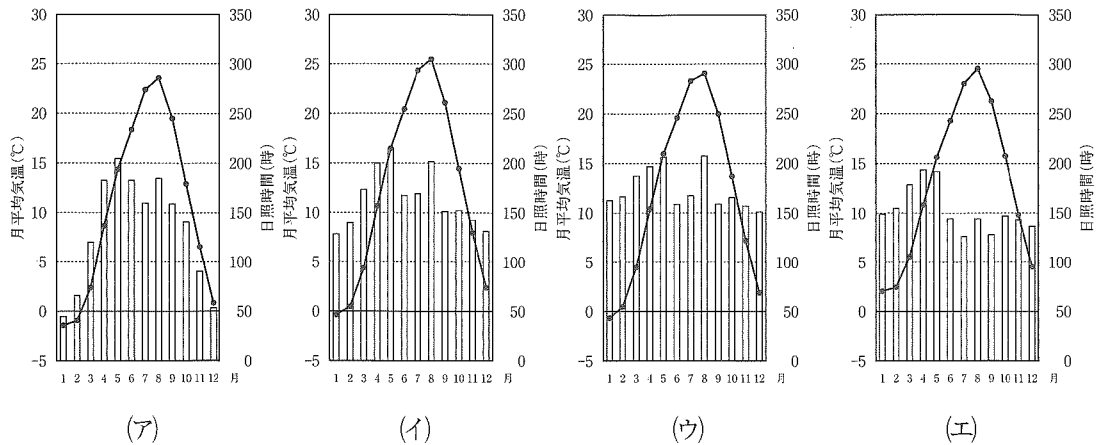


図3

出典：気象庁のホームページの情報より作成。

(7) 図4は、伊那市、佐世保市、つくば市、夕張市について、令和2年(2020年)国勢調査にある職業大分類別就業者数(15歳以上就業者数)の割合を示したグラフである。伊那市のものを(ア)～(エ)から選び、その記号をマークしなさい。

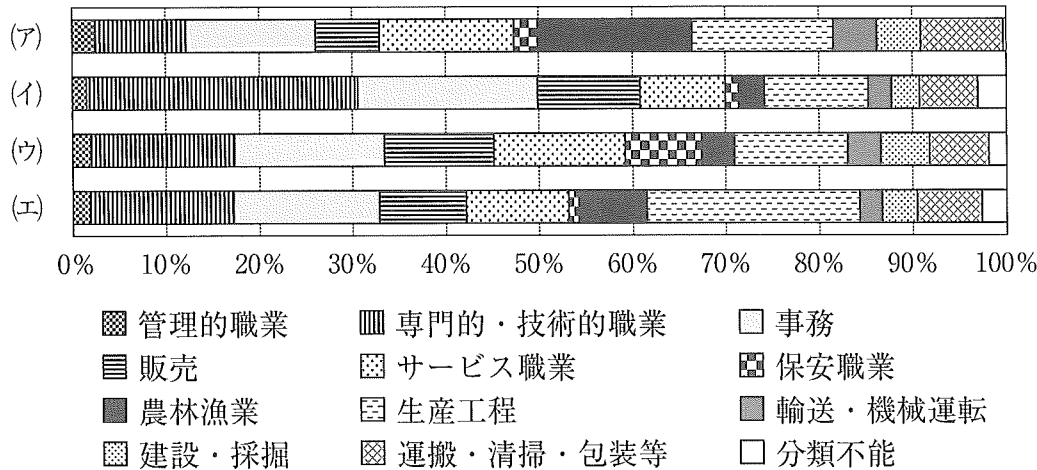


図4

〔Ⅲ〕 森林・林業について述べた次の文を読んで、問1～問6に答えなさい。

森林は世界の陸地面積の約〔ア 1 (イ) 3 (ウ) 5 (エ) 7〕割を占めている。
世界の森林は熱帯林、温帯林、冷帯林(亜寒帯林)に大別されるが、そのなかで最も面積が広いのは森林全体の約半分を占める〔ア 熱帯林 (イ) 温帯林 (ウ) 冷帯林(亜寒帯林)〕である。農業・漁業と同じように自然から富を得る第一次産業の1つである林業は、こうした豊かな森林資源を活用して、燃料用の薪炭材や燃料以外の建築材・家具材・製紙原料となる用材などの^a、林産物を生産する産業である。森林は林産物の供給以外にも、国土の保全(洪水や土砂流出の防止)、水資源の涵養^{かんよう}、生物多様性の保全、地球温暖化の防止、保健・レクリエーションの場の提供など、様々な機能を併せ持^{あわ}っている。こうした森林の持つ多面的機能の持続的な発揮においても、林業は重要な役割を果たしている。

樹木は広葉樹と針葉樹に大きく二分され、その名が示すように、両者は葉の形で容易に見分けることができる。サクラやブナなどの広葉樹の葉は幅が広く平たい形をしているが、マツやスギなどの針葉樹の葉は針状に尖^{とが}っている。だが両者の違いは葉の形だけではない。細胞レベルでの構造が異なるため、木材にした時の性質も大きく異なる。一般的に、成長が 細胞の密度が 針葉樹の木材は柔らかくて軽いのに対して、成長が 細胞の密度が 広葉樹の木材は硬くて重い。そのため、加工の容易な針葉樹のほうが建築材などに好まれやすく、木材としての経済的価値も一般的に高いが、他方で、重厚さや耐久性が求められる家具やフローリングには広葉樹が好まれやすい。このように広葉樹と針葉樹は、それぞれの特性を活かしながら、適材適所で使われている。

高温多湿な熱帯では、森林を構成する樹種が多様になりやすい。しかし、熱帯林においては、有用材がラワンやチークなど一部の樹種に限られ、有用材だけを選別して切り出すのに時間も費用もかかるうえ、その有用材を森林から遠く離れた消費地へと搬出することが交通の未発達により困難であったことから、開発が遅れてきた。近年、技術の進歩によって、熱帯林は様々な用途で利用されるようになったが、それと同時にその急速な消失^bが深刻な問題になっている。特にブラ

ジルでは、近年 E 向けの F の生産が大きく拡大してきたために、その栽培地域が〔(ア) セルバ (イ) パンパ (ウ) メセタ (エ) リャノ〕と呼ばれる熱帯林地域にも及び、森林破壊の大きな要因の1つとなっている。

熱帯林の回復は他の通常の森林の回復よりも格段に難しい。熱帯の高温多湿地域に広く分布するのは、化学的風化と養分溶脱を激しく受けた、やせた G 土壌の H である。熱帯林を伐採すると、強烈な直射日光にさらされたこの土壌は不可逆的に硬化し、そこに植物が根を張ることはできなくなる。そのため、熱帯林はいったん伐採してしまうと再生がとても難しくなる。また冷帯林(亜寒帯林)の消失もそれに劣らず深刻な問題である。森林伐採後、太陽光による熱が土壌に伝わり、地中の永久凍土が融解して沼地を形成するが、いったん沼地化するとその土地での森林の再生はとても困難になる。それだけでなく、永久凍土層下の〔(ア) 泥炭 (イ) シェールガス (ウ) レアアース泥 (エ) メタンハイドレート〕が大量に放出されることで地球温暖化が進み、そのためにさらに多くの永久凍土が融解する、という悪循環に陥ることも懸念される。

問1 文中の〔 〕～〔 〕の選択肢から最も適当なものを選び、その記号をマークしなさい。

問2 文中の A ～ D に入る語句の正しい組合せを選び、その記号をマークしなさい。

	A	B	C	D
(ア)	速く	高い	遅く	低い
(イ)	速く	低い	遅く	高い
(ウ)	遅く	高い	速く	低い
(エ)	遅く	低い	速く	高い

問3 文中の E ・ F に入る語句の正しい組合せを選び、その記号をマークしなさい。

	E	F
(ア)	アメリカ合衆国	大豆
(イ)	アメリカ合衆国	コーヒー
(ウ)	中国	大豆
(エ)	中国	コーヒー

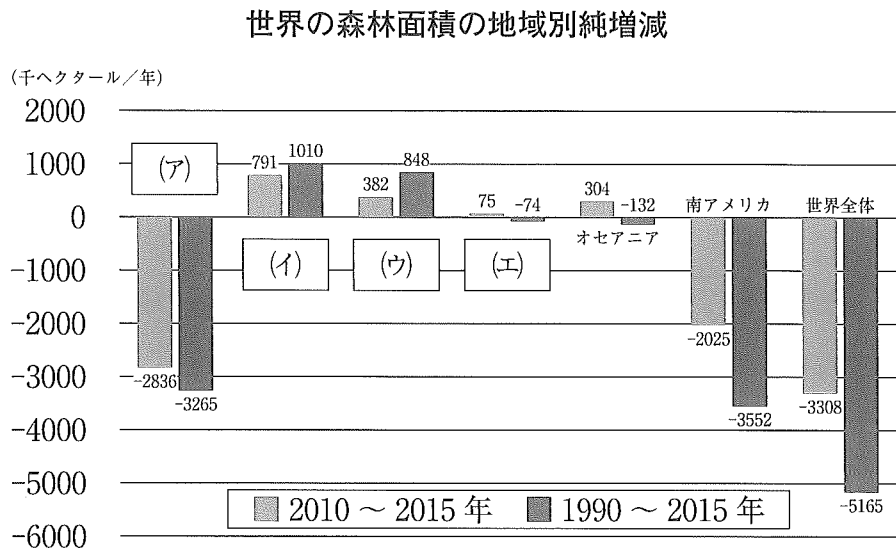
問4 文中の G ・ H に入る語句の正しい組合せを選び、その記号をマークしなさい。

	G	H
(ア)	酸性	ポドゾル
(イ)	酸性	ラトソル(フェラルソル)
(ウ)	アルカリ性	ポドゾル
(エ)	アルカリ性	ラトソル(フェラルソル)

問5 文中の下線部 a に関連する下の文章(ア)～(ウ)について、下線部の内容が誤っているものを選び、その記号をマークしなさい。

- (ア) ヨーロッパなど早くから森林開発が行われてきた地域では、用材生産のための人工林化が進んでいる。
- (イ) 日本では、2012年に再生可能エネルギーの変動価格買取制度が導入されたことを契機として、木質バイオマス発電事業の普及が進んでいる。
- (ウ) 薪炭材として広葉樹と針葉樹を比べると、針葉樹のほうが、火つきがよくすぐに高い燃焼温度が得られるために^た焚き付け(着火)に向いており、その反面、火持ちがよくないために火を長く維持したいときに向いていない。

問6 文中の下線部bに関して、下のグラフは世界の森林面積の地域別純増減(年平均)を示したものである。(ア)～(エ)はそれぞれ、アジア、アフリカ、北アメリカ、ヨーロッパのいずれかである。(1)アジアと(2)アフリカに該当するものを選び、その記号をマークしなさい。



出典：「FAO Global Forest Resources Assessment 2015」より環境省が作成。

〔Ⅳ〕 南アジアについて述べた次の文を読み、問1～問6に答えなさい。

南アジアは、超大国のインドを中心に、インドに隣接するパキスタン、バングラデシュ、ネパール、ブータン、島国のスリランカとモルジブ(モルディブ)によって構成される。

インドは、日本の約〔(ア) 3.7 (イ) 8.7 (ウ) 13.7 (エ) 18.7〕倍の国土面積があり、2023年時点での人口数は約〔(ア) 8億 (イ) 10億 (ウ) 12億 (エ) 14億〕である。インドは、1947年に独立後、ソビエト連邦を参考にして国家主導型の産業政策を展開し、現在の国内産業の基盤が構築され、世界的に生産量の多い製品がみられるようになった^a。さらに1990年代以降に経済が自由化されると、外資系企業が参入するようになり、製鉄業といった重工業だけでなく、自動車産業、ICT(情報通信技術)産業などが成長した^b。

パキスタン、バングラデシュとスリランカでは、近年豊富な労働力を背景として〔(ア) 製紙業 (イ) 製鉄業 (ウ) 石油精製業 (エ) 縫製産業〕が急成長している。^③パキスタンでは、〔(ア) インダス川 (イ) エーヤワディー川(イラワジ川) (ウ) ガンジス川 (エ) チャオプラヤ川〕に灌漑^④^{かんがい}が整備されて農業が盛んとなり、米など農産物の輸出が増えている。バングラデシュは、デルタを中心とした低平な国土が広がり、そうした自然環境を基盤として第一次産業が展開されてきた^c。スリランカでは、プランテーション農業が盛んで、〔(ア) カカオ (イ) コーヒー (ウ) 茶 (エ) バナナ〕を中心とした商品作物の輸出が多い。^⑤

ネパールとブータンは、ヒマラヤ山脈の山麓に広がる国家である。ネパールでは外国人向けの観光業が発展している^dのに対し、ブータンでは未発達である。両国ともに国土全体に広がる傾斜地では、自給自足的な農業が中心となっている。モルジブ(モルディブ)はインド洋上に浮かぶ^e島嶼国^{とうしょ}で、近年のリゾート開発により経済成長が顕著である。

問1 文中の〔 ① 〕～〔 ⑤ 〕の選択肢から最も適当なものを選び、その記号をマークしなさい。

問2 文中の下線部 a に関して、表は、インドで生産量の多い製品について、上位4カ国とその割合を示したものであり、(ア)～(エ)は塩、自動車、窒素肥料、綿糸のいずれかである。自動車に該当するものを選び、その記号をマークしなさい。

表

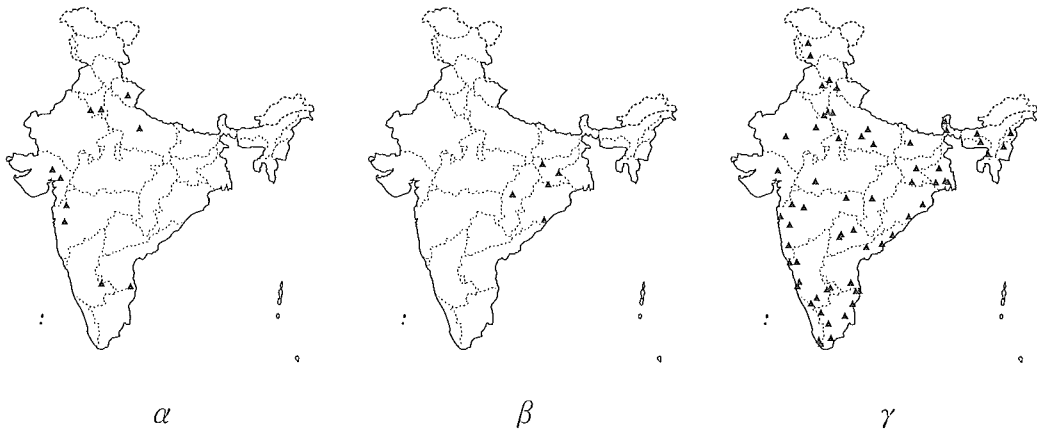
(ア)		(イ)		(ウ)		(エ)	
中国	72.3	中国	21.9	中国	31.8	中国	23.7
インド	7.6	アメリカ合衆国	15.1	アメリカ合衆国	11.8	インド	11.7
パキスタン	6.3	インド	10.0	日本	9.2	アメリカ合衆国	10.7
トルコ	3.3	ドイツ	5.4	インド	6.4	ロシア	9.6

出典：『2024 データブック オブ・ザ・ワールド』より作成。

統計年は、塩は2018年、自動車は2022年、窒素肥料は2021年、綿糸は2014年。塩、窒素肥料、綿糸は重量ベースに、自動車は台数ベースに、世界全体の生産量に占める各国の割合(%)が算出されている。

問3 文中の下線部**b**に関して、図の α , β , γ は、インドにおける製鉄業、自動車産業、ICT産業の分布を示したものである。図の α , β , γ の正しい組合せを選び、その記号をマークしなさい。

- (ア) 製鉄業： α , 自動車産業： β , ICT産業： γ
- (イ) 製鉄業： α , 自動車産業： γ , ICT産業： β
- (ウ) 製鉄業： β , 自動車産業： α , ICT産業： γ
- (エ) 製鉄業： β , 自動車産業： γ , ICT産業： α
- (オ) 製鉄業： γ , 自動車産業： α , ICT産業： β
- (カ) 製鉄業： γ , 自動車産業： β , ICT産業： α



図

問4 文中の下線部**c**に関して、バングラデシュの第一次産業について説明した下の文(ア)～(エ)のうち、最も不適当なものを選び、その記号をマークしなさい。

- (ア) ムスリム(イスラーム教徒)が中心の国家なので、養豚は盛んである。
- (イ) 雨季に洪水が広がる地域でも、ジュートの生産が可能である。
- (ウ) 乾季に稲作を行うために灌漑用の井戸かんがいが掘られている。
- (エ) 海洋漁業よりも内水面漁業のほうが生産量が多い。

問5 文中の下線部 d に関して、ネパールの外国人向け観光業を述べた下の文について、下線部①、②の正誤を判定し、①のみ正しい場合はアを、②のみ正しい場合はイを、①、②とも正しい場合はウを、①、②とも誤っている場合はエをマークしなさい。

ネパールの山岳地域では、登山(山頂を目指して山を登ること)やトレッキング(山麓^{さんろく}での徒歩旅行)を楽しむ外国人観光客が多い。欧米諸国からの観光客の場合、①トレッキングより登山を楽しむ人々が多くなっている。外国人観光客の増加ととも①に観光業に携わる人々が増えており、シェルパなどチベッ②ト系民族は、登山客やトレッキング客のガイドとして活躍している。また、ポカラなどで高原リゾートが開発されるとともに、世界遺産を中心とした寺院巡りやヒマラヤ遊覧飛行など、首都カトマンズを拠点とした観光ツアーも充実している。

問6 文中の下線部 e に関して、島嶼国モルジブ(モルディブ)の特徴について説明した下の文(ア)～(エ)のうち、最も適当なものを選び、その記号をマークしなさい。

- (ア) 火山活動が活発で、大小様々な火山島によって構成される。
- (イ) かつてはインド大陸の一部であり、丘陵地が沈水して多島海化した。
- (ウ) 標高の低い島々で構成され、各島の沿岸にはサンゴ礁^{しょう}が発達している。
- (エ) プレート境界に位置し、細長い島々には山脈が発達している。

(以上)